

# 明日に架ける橋

2026年度 進路だより 第1号  
兵庫県立明石高等学校進路指導部  
2026年4月9日発行

## 新年度を迎えて

1年次の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして2年次・3年生の皆さん、新しい学年が始まりました。「まだ4月」と思うか、「もう4月」と思うか。この違いが、1年後の自分を大きく変えます。それぞれが感じている新しいスタートのドキドキやワクワクを大切にしながら、今年1年を「自分の将来を決める1年」として過ごすと、価値のある1年になることでしょう。

ここで、進路だよりの表題である「明日に架ける橋」についてお話しします。この表題は2006年4月、ちょうど20年前に命名され、現在まで大切に受け継がれてきました。当時の進路指導部の先生が、「皆さんとともに将来や進路について考え、明石海峡に架かる橋のように、この明石高校から皆さんの『明日』へと続く橋を架けたい」という思いを込めて名付けたものです。

さらに、その由来は、Simon & Garfunkel の名曲 Bridge Over Troubled Water (明日に架ける橋) にあります。一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。その思いが込められた歌詞を紹介します。

言葉の一つひとつに、当時の先生方の願いを感じながら読んでみてください。

When you're weary, feeling small, When tears are in your eyes, I will dry them all I'm on your side. When times get rough And friends just can't be found, Like a bridge over troubled water I will lay me down. Like a bridge over troubled water I will lay me down.	生きることに疲れはてみじめな気持ちで つい涙ぐんでしまう時 その涙は僕が乾かしてあげよう 僕はきみの味方だよどんな辛い時でも 頼る友が見つからない時でも 荒れた海に架ける橋のように 僕はこの身を横たえよう 荒れた海に架ける橋のように この身を横たえよう
When you're down and out, When you're on the street, When evening falls so hard I will comfort you. I'll take your part. When darkness comes And pain is all around, Like a bridge over troubled water I will lay me down Like a bridege over troubled water I will lay me down.	きみが落ちぶれて 街角に立つ時 夕暮れが冷酷に垂れこめる頃 きみを慰めてあげよう 暗闇が立ちこめ 苦痛がきみを覆い包む時 僕が身代わりになろう 荒れた海に架ける橋のように この身を横たえよう 荒れた海に架ける橋のように この身を横たえよう
Sail on silvergirl, Sail on by. Your time has come to shine. All your dreams are on their way. See how they shine. If you need a friend, I'm sailing right behind. Like a bridge over troubled water I will ease your mind. Like a bridge over troubled water I will ease your mind.	出帆するのだ 銀色の乙女よ 帆を上げて海を渡っていこう 今こそ きみは輝くのだ きみの夢はすぐそこまできている ほら 眩しい光で輝いているのが見えるだろう ひとりで心細いのなら 僕が後ろからついて行ってあげよう 荒れた海に架けた橋のように きみの心を和ませよう 荒れた海に架けた橋のように きみの心を和ませよう

この歌詞に込められた当時の先生方の思いと、現在の私たちの思いは、何一つ変わっていません。Bridge Over Troubled Water が時代を超えて歌い継がれているように、この進路

だより「明日に架ける橋」にも、変わらない願いが込められています。

「出向するのだ … 今こそきみは輝くのだ。きみの夢はすぐそこまできている。」この歌詞のように、一歩を踏み出すかどうか、やるべきことから目を背けないかどうか。その選択の積み重ねが、皆さんの「明日」を作ります。

進路選択は、ときに不安や迷い、孤独を伴うものです。思うようにいかないことや、自分の力に自信が持てなくなることもあるでしょう。それでも、そんなときこそ思い出してください。皆さんの周りには、支えてくれる仲間や先生がいます。ぜひ頼ってください。

この1年が、皆さんにとって「後から振り返ったときに、人生が動き出した1年だった」と言えるものになることを願っています。

## 進路指導室の利用について

進路指導室は管理棟の3階です。積極的に利用して、進路実現に役立ててください。

### ◇利用時間

始業前、昼休み、放課後が利用可能です。ただし会議のある時は、利用できません。

### ◇閲覧用資料

赤本(大学別過去問題集)、大学別案内、先輩の受験報告書、受験データ集など、皆さんの進路実現に必要な資料を揃えています。

・赤本やクラスに置かれている受験情報誌(蛍雪時代など)は、PTA会費によって購入していただいています。大切に使って、活用してください。

### ◇ルール

・資料の閲覧、進路相談などで利用してください。自習は不可です。

・閲覧した資料は元の場所に戻しましょう。

・赤本などの貸し出しは、先生に申し出て手続きをしてください。

冊数に制限はありませんが、貸し出し期間は2泊3日です。

・問題集のコピーは各自で行ってください。

・入室の際は、学年・クラス・氏名を名乗る、用件を伝える、などのマナーを守りましょう。

### ◇廊下の資料

・廊下の資料は、許可を得ることなく自由に持ち帰ってもかまいません。

・受験情報誌、各大学の案内、大学別過去問題集など役に立つ資料を置いています。

進路指導部は今年は5人の専任の先生(池本・河本・櫻井・大江・富田)がいます。自らの進路実現のために、進路に関する相談にどんどん来てくれることを待っています。

今春卒業の78回生が昨年1年間に借りた赤本の総数は679冊で、大学進学希望者の1人平均2.5冊です。ちなみに昨年卒業の77回生は、総数1563冊、1人平均5.8冊でした。78回生の特徴は同じ人が何十冊も借りて帰って、その人たちは当然成果を出しました。今の3年生(79回生)も多くの人が春季休業中から赤本を借りに来て早速受験勉強を始めています。前号を読んでしっかり行動に移してくれて、大変頼もしいです。春季休業中の進路相談もかなり多くの3年生が来てくれました。この勢いで、全員で頑張りましょう!

2・3年生の皆さんには既にお知らせしましたが、進路指導部横に「相談箱」を設置しました。新入生の皆さんに、改めてお伝えします。

どんな相談内容でもかまいません。進路に関しての相談があれば、この箱に用紙を入れてください。用紙は用意していますが、どんな用紙でも構いません。記名でも、無記名でもどちらでも大丈夫です。記名の場合は、本人に直接または返信用紙で回答します。無記名の場合は、横のボードに返答を掲示します。スーパーマーケットによくある「お客様の声」のような感じです。またこの場合は、皆さんで相談内容と返答が共有できますので、見ることによって自分の問題解決、進路実現に繋がります。

定期的に、進路指導室に来て、様々な情報を入れて、進路実現の補助としてください。本気になるのが早ければ早いほど、自らの未来が、より明るく開けます。

**週に一度は進路指導室に来て、新しい情報、資料、問題集をゲットしましょう!**

